

教 科	科 目 名	単 位 数	学 年	学科またはコース	履 修
農 業	農業経営	2	2	生物生産科	必修

科目のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・農業経営について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けさせる。 ・農業経営に関する課題を発見し、農業や関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に課題を解決する力を養う。 ・農業経営のマネジメントやマーケティングが経営発展につながるよう主体的に取り組む態度を養う。
--------	--

使用教材など	『農業経営』実教出版
--------	------------

期	月	時数	学 習 内 容	学習のポイント
一 学 期	4 ～ 7 月	19	農業の動向と農業経営 1. 日本と世界の農業 2. こんにちの農業経営 農業経営の組織と運営 1. 農業経営組織の組み立て 2. 農業経営の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の日本の農業が置かれている状況を、世界と比較しながら実態を理解する。 ・環境保全型農業と、食品の安全について理解し、農業生産管理工程（GAP）のチェックシート活用ができるようにする。
二 学 期	8 月 ～ 12 月	31	農業経営の会計 1. 簿記の基礎 2. 各種取引の記帳と決算	<ul style="list-style-type: none"> ・農業資本の特性を理解する。 ・実際の複式簿記の記入方法に重点を置き、商業簿記初級レベルの知識と技術を身に付ける。 ・家族経営の資本について理解する。 ・決算に向け、損益計算書と貸借対照表の作成ができるようになる。
三 学 期	1 月 ～ 3 月	17	農業経営の診断と設計 1. 農業経営の診断 2. マーケティングと GAP の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・簿記の基礎を応用し、実際に経営診断を行う。 ・マーケティング戦略と GAP による農場管理について学び、マネジメントサイクルの手順を理解する。

評価の観点

観点	a : 関心・意欲・態度	b : 思考・判断・表現	c : 技能	e : 知識・理解
観 点 の 趣 旨	a : 農業経営とマーケティングについて関心を持ち、今日的な課題の解決に向け意欲的に取り組んでいる。	b : 農業経営の現状や今日的な課題などについて考察できる。	c : 農業の動向と農業経営について理解するとともに関連する技能を身につけている。	d : 日本や世界の農業の動向を学習し、農業経営の仕組みや課題について理解している。

主たる 評価方法	学習状況の観察 記述の点検（ノート、ワークシート等） 定期考査	学習状況の観察（発表等のパフォーマンスの評価） 記述の点検（ノート、ワークシート等） 定期考査	学習状況の観察 記述の点検（ノート、ワークシート等） 定期考査	学習状況の観察 記述の点検（ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト
-------------	---------------------------------------	---	---------------------------------------	---

評価項目・学習にあたって・評価点		
①筆記試験	座学及び実習で得た知識がきちんと身についているか。	70 点
②実習	積極的に動くことが出来る。仲間と協力して真面目に取り組める。 作業内容を理解できている。	30 点
③課題提出	座学のノート、水質調査等観察の記録、プロジェクト学習のまとめ等	